

共助のすゝめ

災害発生時は地域の人々が互いに協力し、組織的に取り組むことが大きな力となります。



しちじゅうがり きよあき
七十刈 清明さん
久慈湊地区自主防災連合会 会長
湊下組町内会 会長

自主防災組織とは

災害の拡大を防ぐには、自分や家族の力だけでは限界があります。地域の人たちが集まり、互いに協力しながら初動時の防災活動に、組織的に取り組むことが大きな力となります。

災害時はもちろん、日ごろから地域の皆さんと一緒に、防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」といいます。

自主防災連合会結成

「久慈湊地区自主防災連合会」は平成18年6月に久慈市で最初の自主防災組織として結成されました。結成時は6地区の町内会、平成29年2月

に2地区が加わり、現在は8地区で連携しています。

当初は町内会長が協議をして結成しましたが、実は連合会として活発な活動はしていなかったと当時の会長から聞いています。

意識を変えた大震災

活動を大きく変えたのは「東日本大震災」。当地区も津波の被害を受けました。連合会では避難所で炊き出しをしたり、灯油を買ったりしました。あの時は、行政からの支援も遅れていたため、各町内会、連合会が自主的に動いて、地域の力で地域の人たちを助けました。「地域は地域が守る」という意識がより強くなったきっかけだと思います。

防災活動を推進

震災以降は、各地区の町内会や団体に避難訓練や講習会を定期的に行っています。

湊下組町内会では、各家庭で世帯構成や避難時の援護の有無、避難経路などを記入した世帯台帳を作成しています。町内会が非常時どのような支援するかを把握するためにも活用していますが、世帯台帳の作成をきっかけに各家庭で防災のことを考えてもらうことが一番重要だと思っています。

役割を明確に

災害時には情報がとても重要で、各地域で指示命令系統を明確化し、炊き出し班、

避難誘導班など役割を決め行動することが2次災害を防ぐことにつながります。地域に合った防災マニュアルを作成し安全・安心な地域を作っていくかなければならないと思っています。

今後の活動

災害発生時は、一つの地域だけでは対応が難しい場合が多いと思います。地域を越えて協力・連携をしていかなければならない。大きな団体になると調整は難しくなりますが、合同の避難訓練なども実施していきたいです。個人、家族、地域団体、地域連携と共助の輪を広げ、地域を守っていききたいです。

自主防災組織に補助

市では、自主防災組織の育成を推進するため、自主防災組織の結成時の経費（1回限り）や活動に要する経費（年1回）に補助金を交付しています。

■自主防災組織結成事業

組織割6万円＋組織構成世帯×200円（限度額10万円）

■自主防災組織活動事業

組織割6万円＋組織構成世帯×200円（限度額10万円）

消防防災課 ☎52-2173

防災講演会を開催

台風10号災害の経験を踏まえ、豪雨災害における避難行動や防災対策など、災害に備えるための知識習得を目的とした講演会を開催します。

▶日時…9月9日(日)

14時～16時30分

▶会場…アンバーホール小ホール
※会場の駐車場が混雑している場合は市役所駐車場を利用してください

▶料金…無料

▶講師…

・岩手大学地域防災研究センター 福留邦洋 教授

・気象庁盛岡地方気象台 時苗仁 気象情報官

▶講演内容…「気象災害と防災気象情報の活用について」など

※参加するには事前に予約が必要です

消防防災課 ☎52-2173



新井田地区では、日本赤十字社岩手県支部と協力し災害セミナーを開催



災害用炊飯袋の使い方を講習



津波避難訓練でも町内会で避難誘導



久慈湊小学校全校児童での避難訓練



避難場所から家族への引き渡し訓練も実施

防災メールマガジン

防災情報、防災行政無線の放送内容などをメールで配信しています。



※QRコードを読み取り登録してください。

防災行政無線電話再応答サービス

防災行政無線で放送された内容を無料で確認できます。 ☎0120-62-1281



■非常持出・備蓄品を準備する
備蓄する食料や水については、最低でも3日分（できれば1週間分）を備蓄しましょう。
非常持出品は、避難する際に持っていく最低限必要なもの。避難所までの距離や体力を考え、持って避難できる量にしましょう。

■連絡方法を決めておく
災害時には家族が離れ離れになることもあります。家族や親戚、友人などで緊急連絡先を共有すると、緊急時に連絡が付きやすくなります。
大災害時にはNTTや携帯電話会社において、災害用伝言ダイヤルサービスなども開設されます。

自分や家族でできること

■避難場所・ルートを確認

災害から自分たちの身を守るためには「避難すること」が大原則。家族で話し合い避難場所・ルートを確認しましょう。

勤務先や通学先などでも同様に避難場所・ルートを確認しましょう。

